

## 食肉流通標準化システム協議会 報告事項

## 3. 12 震災対応状況について(幹事企業5社の情報をベース)

## 1. 3/11の震災時・震災後の対応

## 1) 震災発生時の全般的影響

- 主幹工場が被災(1週間後、一部再開)。不足分は、西日本各地の生産工場より補給。
- 震災発生から数日は回線ダウンや停電により利用が出来ない事業所が発生。物流網確保も苦勞。
- 東北地区の工場中心被災
- 東北支店、主力工場及び物流センターが被災。
- 仙台拠点が被災

## 2) 震災発生時に影響を受けたシステム・機能しなかったシステム 対応状況

- ・ 基幹系のシステム(東京・大阪などに集中)については、問題なし。
- ・ 被災地域の現地PC、マテハン、足回り回線に影響あり。
- ・ 安否確認システムが機能せず。  
(震災発生時に携帯電話/PC等のメール・インターネットアクセスに影響あったため)
- ・ 携帯電話のメールの送付の不可や遅延が発生。
- ・ 回線の不通、障害や得意先側システム障害による、EOSデータ送受信エラーが多発。

## 3) 震災により影響を受けた業務・取引先対応

- ・ 工場被災に伴ない、欠品発生。
- ・ 配送車両の燃料不足に伴ない配送業務に影響。また納品するも受け取れないなどのトラブル発生。
- ・ 物流倉庫の荷崩れに伴ない、出荷配送業務に影響大。
- ・ 自動倉庫では、停止のため供給に多大な影響を与えるケースも発生
- ・ 震災当初、得意先からのオーダーが通常の4~5倍の状態が続き、欠品及び配分調整の混乱。
- ・ 得意先も被災しているため、頻繁な納品先の変更による配送の混乱。
- ・ 欠品、数量変更などの膨大な伝票処理が発生。 ⇒ 得意先もどれだけ発注しどれだけ納品されたか正しく把握していない為、

## 4) 震災時オフィス利用不可や出勤手段不可となった際の、システム施策・施策案

- ・ 主要メンバーについては、モバイルPCによる対応
- ・ 受注エントリー拠点等については、代替拠点の明確化実施
- ・ 今後は、クラウドサービス利用も視野に入れた、在宅勤務可能なシステムの検討。

## 5) 電力供給不可や供給不足となった際の、システム施策・施策案

- ・ 基幹システムのデータセンター(本番機・バックアップ機分散、自家発電対応)
- ・ 受注エントリー拠点等については、代替拠点の明確化実施
- ・ 停電発生時の大規模拠点の執務環境
- ・ SLA(サービス・レベル・アグリーメント)の明確化
- ・ 取引先との大規模停電時での事前対応について確認
- ・ 計画停電地域の自家発電の対応
- ・ クラウドサービス利用も視野に入れた、在宅勤務可能なシステムの検討。
- ・ 各拠点(システム事務所含む)のサーバ類の安全性確保、データ保護策の検討。

## 6) 役立ったシステム、あればよかったと思われるシステム

・TV会議システムが常時利用され大変有効であった。

あればよかった:

- ・在宅勤務可能なシステム
- ・震災時には、有効といわれる SNSの活用や衛星電話など
- ・全社的な安否確認システム

## 7) 今後に向けて

・今回の震災に伴なって機能したこと しなかったことを整理すること、現在準備しているバックアップシステムが正常に稼動するのか、どの範囲までは担保するのかを明確にし経営の理解を得ておく。(適用システム・復旧までの日数・復旧ポイントなど)

- ・不足している部分の投資については今なら理解も得られやすい?
- ・バックアップマシンの機能強化
- ・インターネット回線の二重化
- ・集中化によるコスト削減から、分散化によるリスク管理
- ・EOS処理全般の見直し  
(簡易なデータ訂正、納品センター変更時のスムーズな設定変更対応等)

## 2. 現在のBCP システム対応状況 および課題・苦労している点

- ・切替テスト(年1回)を行っているが止められないシステムもあり、十分なテストに至っていない。
- ・バックアップ機稼動可能なシステムの明確化と担保。(いざという時に動かないなどないか)
- ・有事の際の人の体制(社外パートナー会社含む)
- ・バックアップ機に対する本番データの同期タイミングが、翌日となり、タイムラグがある。
- ・有事の際の人の体制(社外パートナー会社含む)

## 3. 省電力対応への取組状況および課題・苦労している点

<状況>

- ・各PCの省電力対応への設定案内(但し、各自手動での実施)
- ・昼休み時間の消灯
- ・個別の大口契約の工場・プラント、倉庫についてはそれぞれ対応(工場についてはラインを止めざるを得ないか)
- ・間引き照明、反射板の取り付け、照明の高さ調整、自動販売機の撤去など。
- ・一部の関連会社(生産系)で、水・木休みへの変更。
- ・大口契約の工場については、エネルギーフロー図を作成し、下記の対策を実施。

<課題・苦労している点>

- ・PC設定については手動の上、効果が十分には不明。
- ・東京支社が計画停電(現在はないが)。

### 【まとめ・今後に向けて】

- 災害発生を想定したシステムのバックアップ体制の整備と災害訓練(システム切替・人員体制など)必要
- 代替事業拠点の確保、環境整備検討
- 安否確認システムなどの連絡手段の取決め・準備(非常時でも有効なシステムの検討)
- 取引先とのデータ交換・受注処理(キャンセル)の対応検討
- 電力対策の検討も必要(供給不安定なため)
- メール・インターネットなどの通信が不安定となるため考慮必要

以上